

平成25年度 京都府立大学地域貢献型特別研究 (ACTR) 成果

分類 番号	A5	取組 名称	上賀茂神社所蔵史料を用いた洛北地域の歴史・文化の研究
研究代表者：		文学部 (研究科)	職・氏名： 講師・藤本仁文
研究担当者： 京都府立大学 (文学部准教授・東昇、文学部准教授・上杉和央 (敬称略)) 外部分担者・協力者 (京都府立総合資料館歴史資料課)			
主な連携機関 (所在市町村、機関 (部署) 名)			
賀茂別雷神社			
【研究活動の要約】			
<ul style="list-style-type: none"> ・元禄14年 (1701) 一享保9年 (1724) の賀茂別雷神社所蔵日記を紙焼き・DVD化し (全14632コマ)、藤本研究室に配架して学生も閲覧できるようにし、洛北地域研究の基盤を整えた。 ・賀茂別雷神社所蔵日記のうち、洛北地域に関する重要な神事・事件・出来事などに関する記述を翻刻し、また『新修 京都叢書』全25巻・『京都見聞記』全5巻のうち、洛北地域の様子をまとめた記事を抜粋して、洛北地域に関する基礎的事実を網羅するデータを整備した。 ・賀茂競馬について分析を行い、また研究会を開催して土橋誠氏 (京都府立総合資料館歴史資料課) に報告をお願いし、質疑応答を行ってその成果を共有した。 			
【研究活動の成果】			
<ul style="list-style-type: none"> ・賀茂別雷神社所蔵日記を用いて、大学院生1名が修士論文「近世前期の社領・境内における土地所有関係一貴布祢社社有林を中心に」、学部生1名が卒業論文「近世における上賀茂神社「葵献上」について」を作成し、研究・教育・地域貢献の三者の連関を図ることができた。 ・一般市民向けの古文書講座である上賀茂社主催「上賀茂神社の古文書を読む会」にて、本研究で紙焼き資料とした上賀茂社所蔵の日記をテキストにして藤本が講師を担当し、その成果の一部を発表した。 ・『現代版『京童』へのアプローチ』 (研究代表者：藤原英城、2014) に、研究成果の一部であるコラム「勇猛な賀茂競馬」・「神々しい馬場」・「300年前の馬具」・「上賀茂神社と葵」を掲載した。 ・上賀茂神社より画像提供、研究者より動画の提供を受けて、同社の歴史や文化をスマートフォン・タブレットで見られるAR作成やホームページ作成を行った。 ・藤本担当授業「日本史概論」 (2013年度後期) にて、「近世の上賀茂社」 (1/15)、「鴨川と近世京都」 (1/22) の講義を行い、その成果の一部を発表した。 			
【研究成果の還元】			
賀茂競馬について研究会を開催 (2014年1月9日、京都府大2号館史学演習室I、参加者10名) 上賀茂社主催「上賀茂神社の古文書を読む会」 (2013年6月29日・7月13日、参加者約30名) 文学部主催国際京都学シンポジウム「名所の今昔案内—現代版『京童』へのアプローチ—」 (2014年3月15日、参加者約120名)			
【お問い合わせ先】		文学部 (研究科) 藤本研究室	職・氏名 講師・藤本仁文
		Tel: 075-703-5259 E-mail: fujimoto@kpu.ac.jp	

参考（イメージ図、活動写真等）



国際京都学シンポジウムにて、上賀茂社を紹介するARの説明を行う様子